

もし、病害虫がいてしまったら・・・

早期発見が大切。こまめに観察し、みつけたら広がる前に対処しましょう！

| 病害虫 | 灰色かび病 | 株腐れ病 | 線虫病 | ハダニ類 |
|-----|---|-------------------------------------|------------------------------|----------------------|
| 症状 | 花がぼみ、葉や茎にカビがはえ、溶けるように腐る。 | 葉の先端から淡褐色に変色し、葉茎が白く枯れる。クモノス状の菌糸をだす。 | 緑の茎が茶色に変色し、内側から枯れ始める。花が咲かない。 | 葉に白い小斑点や、かすり状の傷ができる。 |
| 予防 | 多湿を避けるため、水やりは株元から、最小限の量にする。 刈込みを毎年行い、風通しをよく管理する。 | | | |
| 対処 | 被害にあった花や葉茎は見つけ次第こまめに取り除くか刈込んで処分。 | | | 株のうえから勢よく水をかける。 |

自然素材で害虫対策！「クスノキ木酢エキス」

★使い方と効果

- ・300～500倍に水で薄め、霧吹きで葉茎に散布 → 殺虫・忌避効果
- ・1000～2000倍に水で薄め、月1～2回水の代わりにまく → 土壌病害減

★つくりかた

クスノキの葉100gを細かくしたものを、1か月間、2Lの酢につけて抽出します



Q & A

植えて2年経ちますが、生長が遅く、まだ隙間があります。

日当たり・土の状態等、その環境によって、シバザクラが生長するスピードにはばらつきがあります。空いた隙間に、挿し芽をして、増やしてあげるとよいかもかもしれません。花が終わったら刈り込むと、花数が増えてボリュームが増すので試してみてください。

花つきが悪くなりました。考えられる原因と対策は？

株の老化が考えられます。老化すると、株元近くの茎が木のように固くなって、花つきが悪くなります。花つきが悪くなったときは、株を引き抜いて土を耕し、新しい苗を植えるのがおすすめです。もうちょっと今の株で踏ん張ってみただければ、思い切って刈込みをし、固くなった株元を土に埋めるようにしてもよいかもかもしれません。長く育てると根が地表に出てくることが多いので、定期的に茎へ土をかけ、根を埋めるように育てると、元気な新芽をつけやすいです。老化による植え替えに備えて、あらかじめ、株分けや挿し木で苗を作っておくのもよいと思います。

プランターで育てる場合の注意点は？

シバザクラは、2～3年で直径50cmほどには生長します。シバザクラの生長を見込んで、できるだけ大きいプランターに植えましょう。また、年数が経つと根も混みあってきます。生育が悪くなってきたと感じたら、根詰まりを疑い、株分けや挿し芽等で株の若返りをはかるとよいでしょう。

シバザクラの育て方

はじめに・・・シバザクラの好きな環境を知ろう！

シバザクラが育つ条件は、第一に「水はけ」、第二に「日当たり」。
雨が降ってもすぐに抜け、できれば夕日ではなく朝日のあたる場所がシバザクラは大好きです。
日当たりが悪くても水はけさえよければ育ちますが、生長が遅くなり、気が付いたら雑草に負けてしまった・・・なんて事も。花数も減ってしまいます。



傾斜地や石垣など乾燥しやすい場所を好みます

真夏・真冬は避けましょう

植付適期と開花時期

| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----|----|----|------|----|----|----|----|----|------|-----|-----|
| | | | 開花時期 | | | | | | 植付適期 | | |

STEP1 土づくりをしよう！

育て方に合わせた土づくりプランター



できるだけ深さのあるプランターが◎

① 土がこぼれないよう、鉢底石を敷きます。



排水ネットに入れて使うと土と混ざらず再利用しやすい！

② 用土を入れて、混ぜます。

水はけがよくなる

花が増える

《用土の配合比率と効果》

| | | | |
|-----------|-------|------|----------------|
| 赤玉土(小粒) 6 | 腐葉土 2 | 川砂 2 | リン酸を含む緩効性肥料 少々 |
|-----------|-------|------|----------------|

水はけと適度な水もちを兼ね備えた、バランスのよい用土。

微生物の力で、土がふかふかに。通気性もアップ。

※例として、20Lのプランターの場合、赤玉土(小粒)12L・腐葉土4L・川砂4Lになります。

※市販の草花用培養土でもOK!そのまま使えます。

※緩効性肥料は、袋に記載の量を守りましょう。

花壇・地植え



① 小石や古い根や雑草を、丁寧に取り除きます。

② 土をひっくり返すイメージで、30cm程度の深さまで耕します。

③ 苦土石灰を混ぜ込み、1週間寝かせます。



④ 腐葉土を混ぜ込み、さらに1週間寝かせます。

「よい土」のチェックポイント

- シャベルが楽にサクッと土に入る
- 雨が降ってもサッと水がはける
- 土そのものがある程度湿度を保てる

★配合用土の効果と量 通気性UP。土がふかふかに。

日本の土壌は 酸性寄り。中和のために混ぜます。

苦土石灰 100~200g/m²

腐葉土 20~30L/m²

既存の土

※水はけが悪い場合は、パーライト(3~5mm径)や川砂も混ぜ混みましよう。

STEP4 来年も花を咲かせよう!

シバザクラは、一度植えれば毎年花を咲かせる「多年草」。毎年花を楽しむために、こまめにお世話をしましょう。

花が咲き終わったらやったほうがよいこと



| 作業 | 刈込み |
|----|---|
| 時期 | 開花が終わって花がらが茶色になったら(5~6月頃) |
| 目的 | 風通し改善。梅雨の時期、株が蒸れて枯れるのを防ぐ。枝分かれしやすくなり、草丈が低く蒸れにくい株になる。 |
| 方法 | 刈込み鉋または草刈機で、上部を刈り取ります。 |



新芽は1~2ヶ月ほどで生えてきます。株元から切ってしまうと、新芽がでてこないの注意!

STEP2 苗を植えよう!

植付手順

- ① ポットから優しくぬきとり、絡みあった根は優しくほぐす。(ポットのお尻を少し押してあげると◎)
- ② 植穴を掘り植付ける。
- ③ 土と根が密着するように土を軽く押さえる。
- ④ 植えて2週間(根が張るまで)は、土が乾かないよう毎日水やりを。

★うまく植えるコツ

植穴の深さはシャベルの半分ぐらいが目安!

植付間隔

20~30cm

プランターの場合は15~20cm

おようへん 応用編 切り取った芽は、「挿し芽」にして育ててみましょう!

★挿し芽のやりかた

切り取った芽 葉がついている元気な部分 6~8cm

土に植える部分 「下1/3」の葉はとる → 土に挿して水をやる

※2~5本くらい束ねて植えてもOK! ※根が伸びてくるまで(約3週間程度)は、乾燥しないようこまめに水をあげましょう。

年数が経って元気がなくなってきたな?と思ったら...

夏の過ぎた9月下旬頃にやろう

STEP3 シバザクラの生長をサポートしよう!

根が張ったあとの水やりについて

| 場所 | 地植え(花壇) | プランター |
|----|------------------------------------|--------------------------|
| 頻度 | 基本的に天気任せでOK。真夏、雨が降らず乾燥のひどい時だけ水やりを。 | 引き続き、土の表面が乾いたら、たっぷり水やりを。 |

夏場の水やりは、早朝か夕方に。日中は湯だってしまうので避けましょう。

こまめに除草をしましょう 隙間から生えた雑草は、シバザクラに覆いかぶさる前に、すぐに抜きます。シバザクラが密に育てば、雑草はほとんど生えなくなります。



チガヤ

追肥について 花が咲く前の2~3月、リン酸を多く含む緩効性肥料をまきます。花つきが悪くなるので、窒素成分の多い肥料はX。

「株分け」「目土」のタイミング!

| 作業 | 株分け | 目土 |
|----|---|--|
| 効果 | 大きくなりすぎたことで蒸れて枯れてしまうのを防ぐ。子株として若返らせる。 | 乾燥を防ぎ、発根が促進される。 |
| 方法 | ①株分けするシバザクラを根ごと掘り起こす。 ②株をわける。(ブチブチとちぎってOK) ③土に植え付け、水をたっぷりあげる。 | 地上に浮き上がった根を土に埋めていく。茎の下半分が埋まるくらいまで土をかぶせる。 |

なるべく根っこは長く残しておく 根付きがはやいです。 株分け後2~3週間は、水を切らさないよう注意。

「株分け」「目土」のチェックポイント

- 植えて数年経っている
- 増えすぎて風通しが悪くなっている
- 生育が悪くなってきたと感じる
- 茎が浮き上がっている